

屋久島におけるカゼチョッキリの観察記録

小島弘昭

〒 243-0034 厚木市船子 1737 東京農業大学昆虫学研究室

Occurrence of *Japonorhynchites caeligenus* (Coleoptera, Rhynchitidae) on Yakushima Island, Kyushu, Japan

Hiroaki KOJIMA

カゼチョッキリ *Japonorhynchites caeligenus* (Sawada, 1993) (本種は以前まで *Neocoenorhynchus* 属に含まれていた) は、九州霧島高千穂峰山頂の吹き上げで5~7月に得られた6個体をもとに記載された。その後、九州対馬ならびに本州和歌山からも採集されたとのことだが、正式な記録はなく(伊澤私信)、加害植物等生態が不明なチョッキリゾウムシ科の珍種とされている。

筆者は最近、屋久島を訪し、前岳の一つで原生的照葉樹林環境が残されている愛子岳(標高1,235m)に登頂した。山頂はアセビやツツジ類の灌木が生える開けた環境で、午後2時頃山頂に到着して遅めの昼食をとっていると、多数の虫が吹き上げられ、同行した娘の薄桃色のTシャツにも次々と昆虫(おもに甲虫)が寄ってきた(Fig. 1)。Tシャツに飛来した昆虫のうち、もっとも多かった種がカゼチョッキリで、周辺のアセビ葉上でも比較的活発に歩き回る本種が多数確認できた。下山の時間もあり、詳しい観察をするゆとりはなかったが、原記載時の生態的知見にも書かれ、その和名からも分かる通り、本種は屋久島においても愛子岳山頂部の吹き上げでのみ観察できた。

今回は屋久島の特別地域における調査許可しか

得ておらず、愛子岳は特別保護地区に含まれるため、採集はできなかったが、これまでのところ本種に近縁な種は国内から知られておらず、野外における外見上の判断でも、同定に問題はないと考えている(Fig. 2)。よって、今回の観察により本種が屋久島にも分布していることが明らかとなり、今回の記録が本種の分布南限記録ともなる。

観察記録：20個体程度目撃、愛子岳山頂、14-V-2015(午後2時頃；天候：曇り)

末筆ながら、本種の分布記録等についてご教示頂いた伊澤和義氏(多治見市)ならびに愛子岳に同行してくれた東京農大の綿引大祐君と娘の直子に厚く御礼申し上げる。なお、本調査は日本学術振興会科学研究費補助金(課題番号：15K06937)ならびに東京農大大学院重点化予算の助成を受けて行われた。

引用文献

Sawada, Y., 1993. A systematic study of the family Rhynchitidae of Japan (Coleoptera, Curculionioidea). *Humans and Nature, Hyogo*, (2): 1-93.

(2015年8月22日受領, 2015年9月15日受理),



Figs. 1-2. Habitat and adult of *Japonorhynchites caeligenus* at the summit of Mt. Aikodake, Yakushima Is. (1, Habitat; 2, adult).